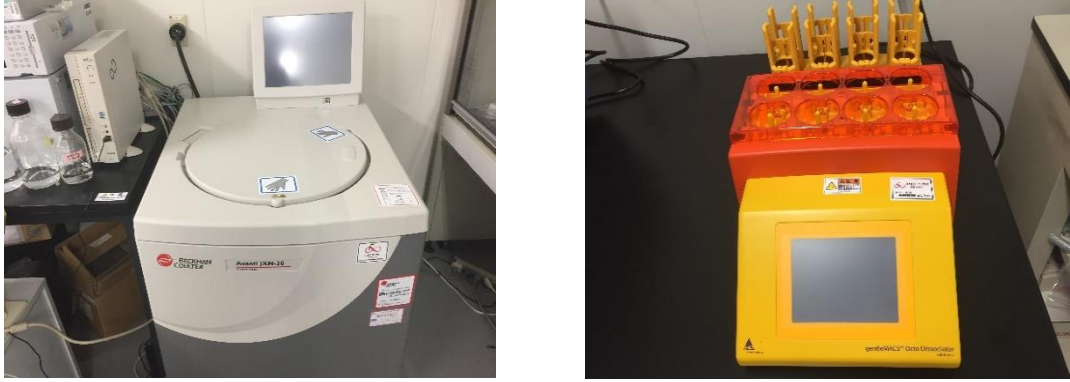


事業者名	公益財団法人がん研究会			
導入機器名	高速冷却遠心機、細胞分離機、4D-Nucleofector、デジタルPCR、マルチラベルリーダー			
写真				
設置場所	公益財団法人がん研究会 がん研究所 316実験室			
特徴・用途	同時に多数のがん患者由来の微量生体試料(体液、新鮮がん組織、病理標本)からの核酸・タンパク質調製を行い、これらを用いて超高感度なプロファイリングを行うことを目的とする。			
利用状況	年月	稼働日数 (日)	利用回数 (回)	主な利用内容
	平成28年11月	13	1	組織からの細胞分離
	平成28年12月	19	2	核酸の定量
	平成29年1月	19	5	タンパク質のプロファイリング
	平成29年2月	20	13	タンパク質のプロファイリング
	平成29年3月	22	13	タンパク質のプロファイリング
	平成29年4月	20	16	遺伝子導入と発現プロファイリング
	平成29年5月	20	12	核酸とタンパク質調製
	平成29年6月	22	17	核酸とタンパク質調製
	平成29年7月	20	28	遺伝子導入、核酸とタンパク質調製
	平成29年8月	23	24	核酸の定量、核酸とタンパク質調製
	平成29年9月	20	15	核酸の定量、核酸とタンパク質調製
	平成29年10月	21	19	核酸とタンパク質調製、プロファイリング
	平成29年11月	20	13	核酸の定量とタンパク質のプロファイリング
平成29年12月	20	24	タンパク質のプロファイリング	
補助事業概要の広報資料	http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/koueki/h28/pdf/28-1-060.pdf			